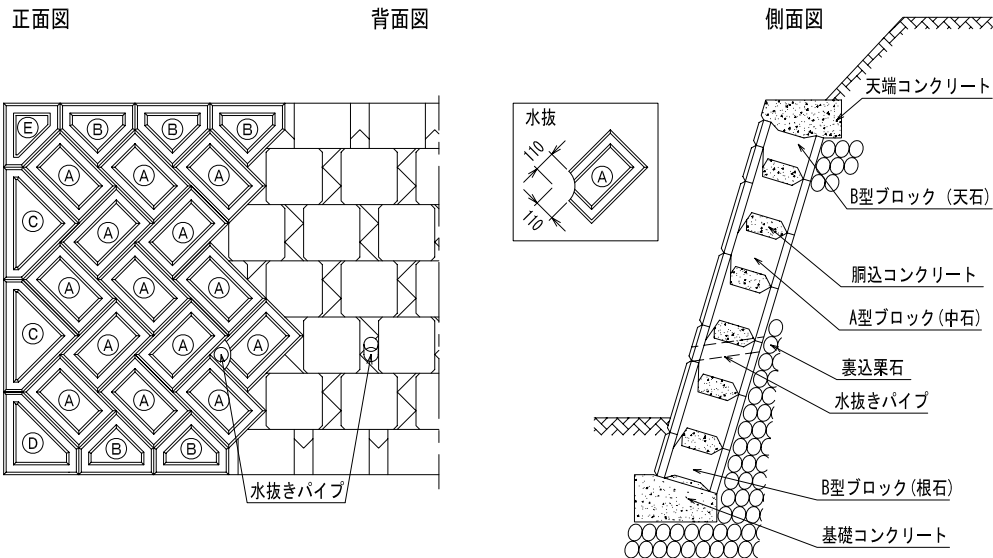


SS型間知ブロック (JIS A 5371)

間知積ブロック

特 長

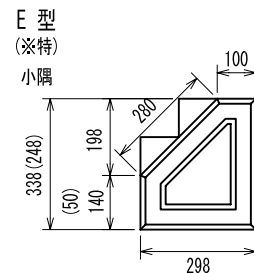
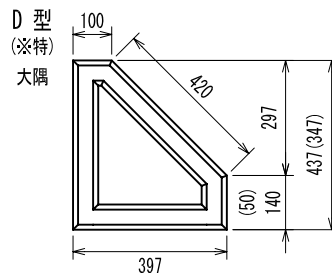
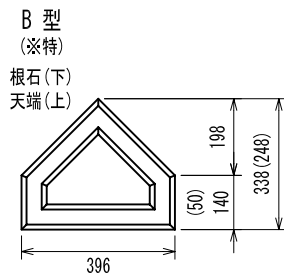
- ・自立型の為、胴飼、尻飼の必要がありません。
- ・流し込み工法による製造の為、品質にむらがなく寸法精度が正確です。
- ・バイブレーターによる製品のズレの心配がなく胴込コンクリートとの一体化が計られます。



呼 び 名	区 分				価 格		
	種別	寸 法 (mm)	参考質量 (kg)	1 m ² 当り (個)	工法	1 個当り (円)	1 m ² 当り (円)
S S ブロック	A 型	420×280×350	42	8.5	谷積	別途見積	別途見積
	B 型	396×338×350	39				
	C 型	594×420×350	57				
	D 型	397×420×350	55				
	E 型	298×280×350	40				

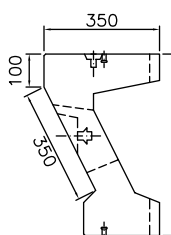
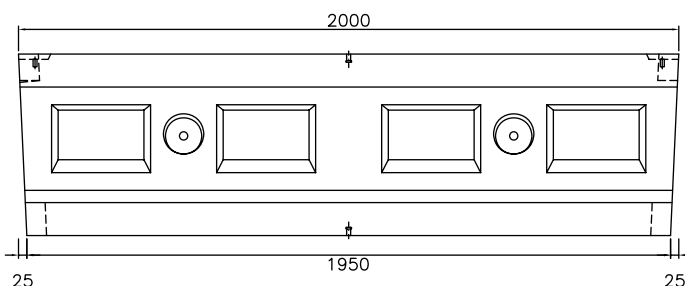
※法長が90mm短くなるB型(小)5cm、D型(小)5cm、E型(小)5cm

※D・E型は左右兼用型



間知ブロック基礎版

【図面集CD掲載】



2,000×350×550

種 類	参考質量 (kg)	中詰容積 (m ³)	価 格 (円)
3分勾配用	432	0.153	別途見積
4分勾配用	422	0.139	別途見積
5分勾配用	417	0.125	別途見積

※L=1mは2m価格の70%になります。
※中詰材:コンクリート

SS型間知ブロック (JIS A 5371)

間知積ブロック

SS型ブロック積法長算出図 (1㎡当り8.5個使用)

